



## デジタルIDとプライバシー ～欧州の事例と世界のトレンド～

2024-07-12 18:30~ @ FINOLAB (大手町ビル4F)



栗原 宏平氏  
(Privacy by Design Lab)



Mark Medum Bundgaard氏  
(Partisia)



崎村 夏彦氏  
(OpenID Foundation)

後援 (Support)



ROYAL DANISH EMBASSY  
Tokyo

# デジタルIDとプライバシー ～欧州の事例と世界のトレンド～

イベント開催レポート

# 一般社団法人Privacy by Design Lab

イベント背景	3
実施背景・コンセプト	4
イベント概要	5
イベント内での登壇者スピーチ	6
イベント内でのパネルディスカッション	7
登壇者紹介	8
懇親会とまとめ	10

## イベント背景

Privacy by Design Labでは、7月12日に[株式会社FINOLAB](#)と一緒に「[デジタルIDとプライバシー：～欧州の事例と世界のトレンド～](#)」というイベントを開催致しました。

このイベントはデンマーク大使館後援のもと、デジタルID業界を代表する[崎村 夏彦](#)様とデンマークのID企業[Partisia](#)からプロダクト責任者のMark Medum Bundgaard様にご登壇いただき、プライバシーについての関心が高まる中で未来のデジタルIDについて語り合うことを目的に開催致しました。

本レポートではイベント実施の背景と当日の内容について、現地参加ができなかった方にもわかりやすく紹介していきます。

## 実施背景・コンセプト

今回デンマーク大使館に後援頂いたのは、1月24日に実施した「[Privacy by Design Conference 2024](#)」での出会いがきっかけでした。

カンファレンスにご参加いただいた大使館の方に、後日お声がけをいただき、デンマークで先進的な取り組みを実施しているデジタルID企業が来日されるということで、彼らの活動を広める機会を作れないかと相談を受けたのが実施の背景です。

また、イベント実施にあたりカンファレンス事務局活動でも協力いただいている阿部様から、FINOLABの柴田様をご紹介いただき実現することができました。

## イベント概要

2024年7月12日（金）に以下の通りイベントを実施致しました。

**名称：**デジタルIDとプライバシー ～欧州の事例と世界のトレンド～

**場所：**FINOLABイベントスペース

（東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4F）

**日時：**2024年7月12日（金）

**開始時間：**18:30（開場18:15）

**終了時間：**20:30

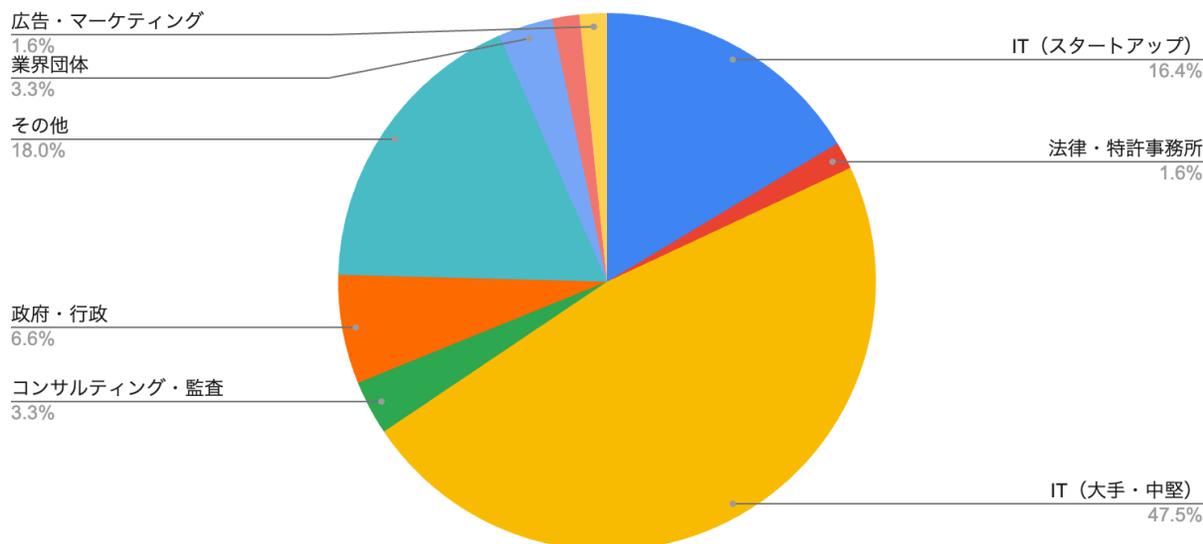
**主催者：**株式会社FINOLAB／一般社団法人Privacy by Design Lab

**後援：**デンマーク王国大使館

**カンファレンス登録サイト：**<https://pdl-finolab0712.peatix.com/>

**当日チェックイン人数：**53人

### チケット購入者所属先割合（所属先記載者のみ）



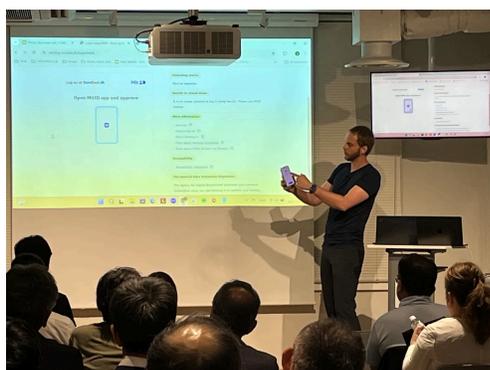
## イベント内での登壇者スピーチ

イベント内では各登壇者より情報提供が行われました。



### イベント概要と挨拶

FINOLAB柴田様よりイベント開催の背景と各登壇者のプロフィールを紹介しました。



### Partisia様のプレゼンテーション

デンマークのスタートアップPartisiaのプロダクト責任者マーク様から、デンマークの国民IDに関するデモ及びPartisiaが提供するサービスの紹介を行いました。



### 崎村様のプレゼンテーション

NATコンサルティング代表の崎村様よりデジタルIDをめぐる日本と海外の状況について情報提供を頂きました。



### 各登壇者のプレゼンテーション動画

各登壇者のプレゼンテーション動画は[Youtube](https://www.youtube.com)に公開しているので、ご確認ください。

## イベント内でのパネルディスカッション

イベント内では各登壇者が参加しパネルディスカッションを実施いたしました。



### パネルディスカッション前半

パネルディスカッションの前半では以下の質問について議論を実施致しました。

1. デジタルIDを活用する際に利便性とプライバシーのバランスをどのように考えていくべきか？
2. 日本と欧州の説明をいただいたが、世界全体でどんな争点があるのか？



### パネルディスカッション後半

パネルディスカッションの後半では以下の質問について議論を実施致しました。

3. 金融の世界では、マネロンや犯罪対策のためにプライバシー保護が軽視されるような場合もあるが、どのように考えればいいのか？
4. 生成AIの登場によって世界が大きく変わりつつあるが、ID管理やプライバシーにどのような影響があるのか？
5. 国境を越えたデジタル空間において持続可能なネット社会を実現していくために必要なことは何か？

## 登壇者紹介



Partisia プロダクト責任者

Mark Medum Bundgaard 様

### プロフィール

マークはPartisiaでプロダクト責任者を務めています。Partisiaは秘匿マルチパーティ計算開発で業界をリードしている企業です。Partisiaは秘匿マルチパーティ計算とブロックチェーン技術を組み合わせて、規制対策やデジタルインフラの設計に取り組んでいます。また、プライバシーを保護した上でのデータ共有を促進し、量子セキュリティやプライベート機械学習へ展開。



NATコンサルティング 代表/OpenID Foundation 理事長 他

崎村 夏彦 様

### プロフィール

一橋大学経済学部卒業後、野村総合研究所を経て現在NATコンサルティング代表、東京デジタルアイディアーズ主席研究員。米国OpenID Foundation理事長を2011年より、MyData Japan理事長を2019年より、公正取引委員会 デジタルスペシャルアドバイザーを2021年より務める。Digital Identityおよびプライバシー関連技術の国際標準化を専門としており、現在世界で30億人以上に使われている、JWT, JWS, OAuth PKCE, OpenID Connect, FAPI, ISO/IEC 29100 Amd.1, ISO/IEC 29184など国際規格の著者・編者。ISO/IEC JTC 1/SC 27/WG 5 アイデンティティ管理とプライバシー技術国内小委員会主査。ISO/PC317 消費者保護：消費者向け製品におけるプライバシー・バイ・デザイン国内委員会委員長。OECDインターネット技術諮問委員会委員。総務省「プラットフォームに関する研究会」を始めとして、多数の政府関連検討会にも参画。



一般社団法人Privacy by Design Lab 代表理事

栗原 宏平 様

### プロフィール

大学在学時に政治家の事務所で働き、卒業後は楽天に入社。2年間の営業経験を経て起業。国外のデジタルサービスの日本展開や国内のサービスの国外展開を支援。2017年より米国の非営利法人Government Blockchain Associationの日本代表を務める。その後、スタートアップの創業に関わる傍ら、ユネスコを始めとした国際会議でブロックチェーン関連で登壇を経験。2020年に一般社団法人Privacy by Design Labを立ち上げ、企業のデータ保護対策を支援する。専門領域は、データ保護（個人情報保護）、デジタルマーケティング、ブロックチェーン。国内外のプライバシー業界のリーダーへ直接お話を聞くインタビューメディア“Privacy Talk”を運営。

## 懇親会とまとめ

パネルディスカッション後には、登壇者の皆様も含めた懇親会を開催し、参加者の方々とこれからのデジタルIDについて議論を深めていきました。



### 懇親会のケータリング

懇親会ケータリングの準備及び片付けについては、会場を提供頂いたFINOLAB様に支援頂きました。



### まとめ

7月12日のイベントでは、既にプライバシーに取り組んでいる人だけでなく、今後プライバシー保護を考えながらデジタルIDやビジネスの設計を考えたい方々にも広くご参加いただきました。

これまでは法律の変化によって起こる企業のコンプライアンス体制に関する話を中心でしたが、デジタルIDを始めとする新しいテクノロジーが広がっていく中で、コンプライアンス対応の視点だけでなく、サービス開発やビジネスデザインに置いても新しいルールのキャッチアップが重要であることがわかりました。

特に個人データをビジネス利用で検討する場合には、法律の専門家に頼るだけでなく、第一線で活躍するビジネスパーソンが全体の動きを俯瞰して見ることも非常に重要になっていきます。Privacy by Design Labでは、こういった大使館連携のイベントを通して、各業界の第一線で活躍している方をお呼びし、今後のビジネスで考えるべく論点について皆さんと一緒に考えていきたいと思えます

本レポートに関する問い合わせ  
担当：一般社団法人Privacy by Design Lab  
連絡先：[info@privacybydesign.jp](mailto:info@privacybydesign.jp)